



本日の内容

- 函館中部の
テレビドラマづくり
- 北海道の放送局(部)の様子
- ドキュメンタリーづくり

函館中部のドラマづくり

「創作」を
みんなで楽しむ

第58回Nコン出品作品

創作テレビドラマ
「君がそばにいてくれたから」



函館中部のテレビドラマ

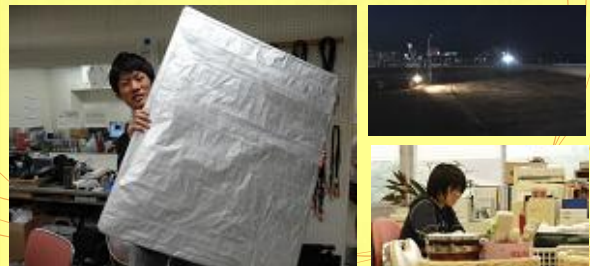
- **本づくり**を楽しむ
- **地元**を楽しむ
- 音づくりも楽しむ
- 制作者のこだわりを楽しむ
- 何度も撮って楽しむ (笑;)

ロケーションを楽しむ



撮影時の工夫

- 光を楽しむ (レフ、照明)



撮影時の工夫（２）

- 奥行と楽しむ
- フィックスにこだわらない
(手持ち、ドリー)



絵づくりを楽しむ



撮影機材



撮影機材（２）

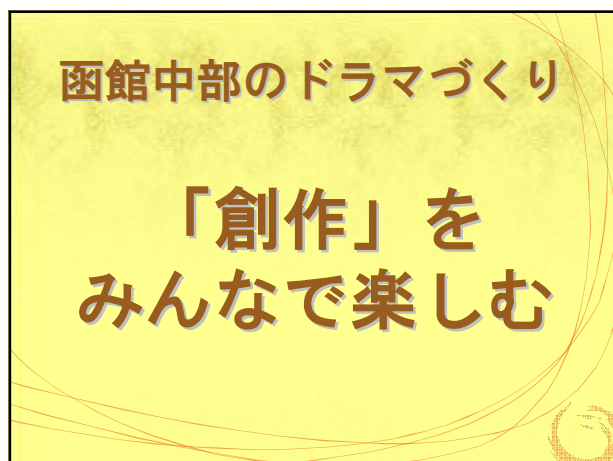
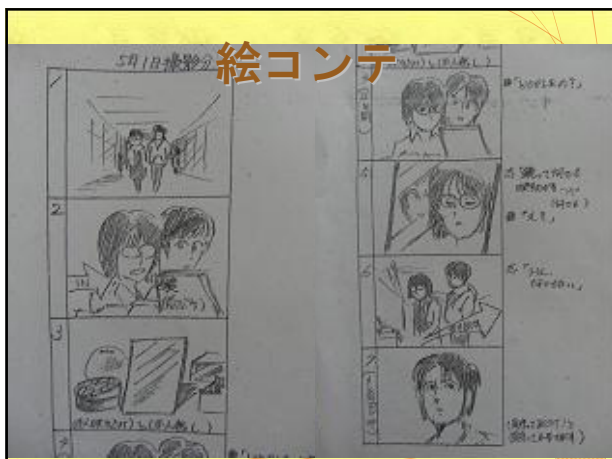


工夫とねばり



夜も楽しむ（笑）





北海道の放送技術講習会

- * 毎年3月末、新2年生を対象に定山溪(温泉)で、1泊2日で行われる
- * アナウンス、朗読、テレビ番組、ラジオ番組、指導者向の5コース

アナウンス、朗読コース

- * 14:00~21:00
それぞれ15人位×3グループに分かれて個別・グループクリニック
- * 翌9:00~12:00 ミニ大会・表彰

テレビ番組コース

* 共通シナリオで、

ショートムービーの作成

- ・7～8人の学校バラバラの制作チーム
- ・専門学校生によるキャスト

1日目 15:00～17:00 撮影

18:00～21:00 編集

2日目 9:00～11:00 合評会、講評、表彰

課題「ROOM」シナリオ

- * 「さあ、はじめようか」
- * 「こんにちは」
- * 「ありがとう」
- * 「さようなら」
- * 「ふざけんなよ」
- * 「完璧だ、言葉、容姿、すべてにおいて」
- * 「暖かい」
- * 「じゃあ次は行動実験だ」
- * 電源コードがはずれる
- * 「改良点ありか・・・」

1、2本見てみましょう

その1

その3

その2

その4

ラジオ番組制作コース

- * 14:00～16:00 ガイダンス
- * 16:00～ 9:00 ドキュメント制作
- * 翌9:00～11:00 発表会



そして、道内各地へ
散っていく...

では、次に
ドキュメントづくり

問題

ドキュメントって
なんだろう？

制作されるビデオには、
様々なジャンルが

- ・家族の運動会のビデオ
- ・交通安全講話のビデオ
- ・商品PRビデオ
- ・テレビ局制作のドキュメンタリー

どんな番組にも
意味と価値がある

では何が違いを生むのか？

何を(テーマ)
何を通して(題材)
誰に
伝えるのか？

帰らなきゃ

第51回Nコン
テレビドキュメント出品作品

「帰らなきゃ」ができるまで

- ☐ 企画会議
- ☐ 決まらぬ企画
- ☐ なんとかなら
ないのか？



驚き、喜び、怒り、疑問など
大きな感情が企画に

まずは実態把握



- ☐ 他の下宿人は？
- ☐ 学校内の下宿率
- ☐ 家賃はいくら？、など

おばさんと向き合う

- 言えない自分の気持ち
- 実は・・・
- 普段のありのままを撮影
購入したばかりのビデオカメラを
下宿専用



ちょっと余談

- 高校生はフットワークの良さが売り
- カメラ搭載ガンマイク、ワイドコンを有効に
- 自転車取材、素材テープも有効に
- 番組は自分以上にも自分以下にも
ならない
- リサーチは必須！



つまり...

アマチュアの利点を
最大限に活かす

余談2(痛感したこと)

- ネタとの出会いを大切にする
(一期一会)
- チャンスは2度と来ない

テーマがだんだん見えてきた

- 食事の様子、洗面所の雰囲気、
卒業生シーンは撮れていくが...
- 進まぬおばさんとの対話
- 記録されていくのは、おばさん
と向合い変化していく**彼女の姿**

運命の日(開校記念日)

- 地区大会直前
(5月中旬)
- 他のメンバーは
テレビドラマ撮影
- 彼女ひとり、下宿でおばさんの
密着取材



彼女からのメール

- 4:00 撮影はじめます
- 9:30 ひと休みします
- 12:00 お昼ごはんなので、
ちょっと休みます
- 14:00 ちょっと休んでいいですか？



???

局長と下宿へ

- 14:30 下宿へ
- 滝のように涙を流す
彼女



!!!

それから、

- おばさんインタビュー、どんどんとれる
- 番組づくりを勇気におばさん対話
- 構成は彼女自身が



ポツネタとして

- 母の日、おばさんへのカーネーション
- おじさんとおばさんとのからみ



実は、

撮影時に了解をもらっていたものの、おばさんに完パケを見せずに優勝してしまった...



おばさんへの報告の様子を
ご覧下さい

学んだこと

自分が壁やプライドを
乗り越えた時、番組も
ひと皮むける

ドキュメントづくりで 大切にしていること

- 「伝えたい」という想い(題材との接点)
- わかりやすさ(項目ごとを「小さなお話」に)
- 大会があるから番組を作るわけではない
- 題材の「今」を伝えること
⇒ 今自分たちが制作する意味
- 「何を」、「誰に」、
「何を通して」伝えるのか



構成・ストーリーづくりのコツ

- 長いお話も、短い「**小話**」が組み合わされてできている
- 「**小話**」で5W1Hや、まとまりがあると、ストーリーがわかりやすい
- 各々の「**小話**」で何を描きたいかを明確にする

「帰らなきゃ」構成を見てみると

- 5時に帰る(つかみ)
- 自己紹介(状況環境説明)
- 夕飯が5時(問題提起)
- おばさん密着(調査)
- おばさん失踪(展開が想定外へ)
- 先輩卒業(おばさんの「愛」を理解)
- 後輩やって来る(姉目線で客観視)
- 変わらない夕飯時間(結び)



捉え方のひとつとして

ドキュメントとは、
何かを描いた、
「事実のお話」

最後に

- * 放送は心と心のコミュニケーション
- * 辛いこともある、でも…
それ以上の楽しみと遣りがい
- * アマチュアは時にプロより強い
- * **笑顔と元気と勇気を**
- * 大会以上に普段の活動

驚き、疑問、感動…
そして、自分。
放送人として その想いを
どんどん発信していこう！！



終わり

ありがとうございました

